

広報

ただみ

11
2017 月号
No. 570
平成29年11月10日



今月の表紙

今月の表紙は、10月1日に秋晴れのなか行われた「トリムウォーク&トリムラン」3.5kmのスタート時の模様です。

選手たちは、特別ゲストで元フィギュアスケート選手の小塚崇彦さんと一緒に走ったり歩いたり、初秋の只見の景色を楽しみながら心地よい汗を流しました。

大会終了後には、うまいもんまつりの会場で町内外から集まった多くの味覚を味わいました。

(関連記事:P4~5)

<特集>

只見町表彰式、道路除雪表彰式 ……2~3

うまいもんまつり、

トリムウォーク&トリムラン……………4~5

《News&flash》

体育交換会、只見町駅伝 ほか……6~9

《町の話》

三遊亭鳳楽師匠の独演会 ほか ……10~13



平成29年度

只見町表彰式・道路除雪表彰式



▲表彰式に出席された受賞者の皆さん

長年の功績を称え

感謝状を贈呈

10月29日、「平成29年度只見町表彰式・道路除雪表彰式」が季の郷湯ら里で開かれ、受賞者の方々と関係者など約80名が出席しました。

この表彰式は、長年にわたり公共の福祉と町政の伸展に尽力され、その功績が町民の模範となる団体や町民の方を称える「只見町表彰」と、長年にわたり地域住民の生活や経済活動を支えるため昼夜を問わず献身的に除雪業務に取り組みられた方々を称える「道路除雪表彰」の2部門を表彰するもので、2年に1度開催しています。

表彰式では、「只見町表彰」と「道路除雪表彰」をあわせて24名の方が受賞され、感謝状が贈呈されました。

今年度、受賞された方々は次のとおりです。

◆只見町表彰(順不同)

「特別功労表彰」

鈴木 好行さん(只見)

長年にわたり消防団員(班長以上)及び消防団長並びに議員を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

「功労表彰」

酒井 右二さん(福井)

長年にわたり消防団員(班長以上)及び町職員(課長職)並びに議会議員を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

飯塚 幸宣さん(大倉)

長年にわたり消防団員を務め自治体消防に貢献されました。

塩沢観光協会(塩沢)

「山の幸山菜まつり」をはじめ地域資源を活用した観光事業を長年にわたり開催し、観光振興

の発展に貢献されました。

佐々木 長生さん(会津若松市)

民俗文化の価値発見、継承、発信を通じて地域振興に貢献されました。

「顕彰」

菅家 道人さん(会津若松市)

定住住宅整備事業推進のため土地及び建物を寄附されました。

合同会社ねっか(梁取)

地場産米の米焼酎「ねっか」が国際品評会IWSC2017において銀賞を受賞し日本を代表する米焼酎として高い評価を受けられました。

菅家 友徳さん(布沢)

民生児童委員を15年にわたり務め社会福祉の向上発展に貢献されました。



▲特別功勞表彰を受ける鈴木好行さん



▲功勞表彰と除雪従事者感謝状を受ける飯塚幸宣さん



▲顕彰を受ける合同会社ねっかの脇坂齊弘代表



▲受賞者を代表して「今後も町の発展に尽力していきたい」と謝辞を述べる鈴木好行さん

船本 洋一さん(黒谷)

納税組合長を16年5月にわたり務め町政の向上発展に貢献されました。

目黒 周子さん(小川)

納税組合長を16年にわたり務め町政の向上発展に貢献されました。

渡部 昭さん(小川)

納税組合長を16年6月にわたり務め町政の向上発展に貢献されました。

「善行表彰」

大塚 サト子さん(黒谷)

長年にわたり河川沿道に花を植え環境美化活動に貢献されました。

「永年勤続表彰」

渡部 浩さん(只見)

消防団員として31年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

酒井 正直さん(叶津)

消防団員として30年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

滝沢 敏也さん(蒲生)

消防団員として31年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

渡部 清貴さん(福井)

消防団員として31年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

星 健之さん(黒谷)

消防団員として31年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

れました。

本名 高喜さん(黒谷)

消防団員として31年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

湯田 修さん(布沢)

消防団員として31年6月にわたり在職し自治体消防に貢献されました。

「感謝状」

シエルナツハの会(只見)

長年にわたり高齢者世帯の雪おろしボランティアを実施し社会福祉の向上に貢献されました。

NPO法人ハートネット

ふくしま(郡山市)

長年にわたり雪おろしボランティアを町に派遣し住民福祉の向上に貢献されました。

◆道路除雪表彰(順不同)

「除雪従事者感謝状」

五十嵐 潤之介さん(塩沢)

飯塚 幸宣さん(大倉)

角田 龍馬さん(小林)



▲盛り上がった「島津悦子」歌謡ショー



▲子どもたちやブナりんと一緒にブナりんの歌と踊りを披露する「松下恵美」さん



▲町内の高校に通う「大竹涼華」さんと「渡部美依」さんが共演したライブステージ



▲子どもから大人まで楽しんだいわなつかみ大会



▲力強い太鼓を披露した「天領只見仙嶽太鼓」

自然首都
只見
Topic.1

自然首都・只見

只見町と新潟県三条市・魚沼市を結ぶ食の祭典

水の郷うまいもんまつり

9月30日～10月1日、町内外の多彩な食が楽しめる自然首都・只見「水の郷うまいもんまつり」がJR只見駅前で開催され、2日間で約4000人が来場しました。

今年、新潟県三条市のイベント「三条マルシェ」と「うまいもんまつり」を繋ぐ「八十里越交流体感バス」が運行され、国道289号の工事区間を見学しながら両市町を代表するイベントを楽しむ企画が行われました。

うまいもんまつりの開会式で、菅家町長は「JR只見線の復旧が決まり、国道289号八十里越区間についても開通の見通しがつきました。このイベントも福島と新潟の食の祭典として益々盛り上がりを見せることと思います」と挨拶しました。

会場では、そばなどの郷土料理を始め県内外から様々な美味しいものが集まり、来場者は各店舗を巡りながら舌鼓を打ち、ステージイベントを楽しんでいました。



▲小型電気自動車「me-go(めご)」の試乗体験



▲様々な食が堪能できたうまいもんまつり



▲多くの人が訪れた会場

湖岸マラソン同時開催

自然首都
只見
Topic.2

第6回 トリムウォーク&トリムラン



▲仮装賞を受賞した新妻橙真くん(右)と特別ゲストの小塚さん(左)

10月1日、自分のペースで申告タイムを目指す競技「トリムウォーク&トリムラン」と「湖岸マラソン」がうまいもんまつりと同会場で開催されました。

当日は爽やかな秋晴れのなか、約150名の参加者がトリム部門とマラソン部門に分かれ、特別ゲストと一緒に走ったり、各自のペースで歩いたりして楽しみました。

大会を終えた参加者の皆さんは、うまいもんまつりで疲れを癒し、スポーツと食の秋を楽しんでいました。

大会の競技結果は次のとおりです。

※敬称略

【トリム部門 優勝者】

◆3・5 km

中島 武(会津若松市)

誤差/4秒

◆6 km(総合優勝者)

青砥 正典(東白川郡矢祭町)

誤差/0秒

◆10 km

佐藤 正孝(魚沼市)

誤差/18秒

【マラソン部門 優勝者】

◆3・5 km小学生男子

菊地 結雅(只見町)

タイム/16分18秒

◆3・5 km小学生女子

浅井 紗愛(魚沼市)

タイム/18分20秒

◆3・5 km中学生女子

齋藤 心華(会津若松市)

タイム/57分47秒

◆6 km高校・一般男子

鈴木 翔(只見町)

タイム/23分50秒

◆6 km高校・一般女子

飯島 小百合(只見町)

タイム/53分42秒

◆10 km高校・一般男子

米田 翔(南会津町)

タイム/37分47秒

◆10 km高校・一般女子

柳田 祥子(郡山市)

タイム/53分58秒

◆仮装賞

新妻 橙真(只見町)



▲大会に参加した特別ゲストの風間さん・小塚さんと選手の皆さん

特別ゲスト



こづか たかひこ
小塚崇彦さん

▲数々の功績を残した元フィギュアスケート選手。現在は解説者などで活躍



かさま しんじ
風間深志さん

▲オートバイで史上初の南極・北極点に到達した冒険家。現在は地球元氣村村長

町内3小学校の親睦と交換を深め自己の記録へ挑戦！
「第47回 只見町小学校体育交歓会」開催

9月29日、町内各小学校児童の親睦と交歓を深める陸上競技「小学校体育交歓会」が町下運動広場を会場に行われ、只見・朝日・明和小学校の5・6年生約70名が参加しました。今大会では、朝日小6年の山田夢空さんが100m・走り幅跳び・リレーの3種目で3冠に輝き、100mに関しては昨年に引き続き2連覇を達成しました。また、明和小6年の菊地新大くんや只見小6年の鈴木詠大くん、只見小6年の大竹未桜さんがそれぞれ2冠を達成しました。

大会の入賞記録は下記のとおりです。



▲3冠に続き100mで2連覇を達成した朝日小6年の山田夢空さん



▲ハードルと走り高跳びを制した大竹未桜さん



▲1000m優勝とリレーの優勝に貢献した鈴木詠大くん



▲圧倒的な速さで男子100mを制した明和小6年の菊地新大くん

第47回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表(3位まで)

	種目	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100m リレー	走り幅跳び	走り高跳び	ソフトボール投げ
男 子	1	鈴木 詠大(只・6) 3分25秒9	菊地 新大(明・6) 14秒1	目黒 琳太郎(明・5) 15秒4	只見A 1分01秒8	菊地 新大(明・6) 414cm	酒井 怜斗(只・6) 113cm	目黒 悠斗(朝・5) 43m95cm
	2	五十嵐 零生(只・5) 3分36秒7	目黒 咲翔(朝・5) 15秒8	新國 蒼空(只・5) 15秒6	明和A 1分03秒5	新國 蒼空(只・5) 390cm	三瓶 創大(朝・6) 100cm	目黒 元基(只・6) 39m79cm
	3	山内 太喜(只・6) 3分40秒4	目黒 元基(只・6) 17秒1	酒井 怜斗(只・6) 16秒4	只見B 1分07秒3	鈴木 詠大(只・6) 382cm	渡部 悠行(朝・5) 95cm	三瓶 奨悟(朝・6) 36m12cm
女 子	1	山中 美紅(朝・6) 2分57秒9	山田 夢空(朝・6) 15秒1	大竹 未桜(只・6) 15秒7	朝日A 1分03秒3	山田 夢空(朝・6) 385cm	大竹 未桜(只・6) 115cm	五十嵐 陽菜(只・6) 37m26cm
	2	齋藤 椿(只・5) 3分08秒5	岩佐 乃杏(朝・5) 15秒6	本名 真歩(朝・6) 16秒0	明和A 1分06秒8	岩佐 乃杏(朝・5) 322cm	山中 美紅(朝・6) 113cm	梁取 もも(明・6) 36m49cm
	3	三瓶 心乃花(明・6) 3分11秒1	梁取 もも(明・6) 15秒7	五十嵐 杏(只・6) 16秒1	只見A 1分07秒8	山本 愛佳(明・6) 322cm	印南 蒼羽(明・6) 110cm	三瓶 なつめ(明・5) 29m38cm

※氏名(学校名・学年)です。なお、学校名は只/只見小学校、朝/朝日小学校、明/明和小学校の略です。

過去最多の45チームが参加
第55回 只見町駅伝競走大会



▲午前10時、町下の教育委員会前を一齐にスタートする45チームの選手の皆さん



▲力走を見せる只見ランナーズの目黒文雄選手

10月15日、只見町体育協会などが主催する「第55回只見町駅伝競走大会」が行われました。今年は町内外から過去最多となる45チームが参加し、日頃鍛えた健脚を競いあいました。雨模様の中行われた大会では、町下の教育委員会前を起点に長浜・亀岡・小林地区を折り返す3コースで開催されました。開会式で鈴木好行体育協会長は「今年は昨年を上回る45チームの参加があり、大変感謝しております。それぞれの目標タイムに向かって頑張ってください」と挨拶されました。午前10時に45チームが町下の教育委員会前を一齐にスタートし、全チームが棄権することなくゴールしました。大会の成績とレースの模様をご紹介します。



▲タスキを繋ぐ只見中駅伝部女子チームの三瓶日麻莉選手と馬場遊茶選手

大会成績(上位3位まで)

◆中学生男子の部

- 1位 若松四中
- 2位 南会津中A
- 3位 只見中駅伝部男子

◆中学生女子の部

- 1位 若松四中
- 2位 若松三中駅伝部
- 3位 只見中駅伝部女子

◆一般女子の部

- 1位 南会津高校C
- 2位 うるわし☆レディーズ

◆男女混成の部

- 1位 金山ランニングクラブ
- 2位 南会津高校B
- 3位 荒海ロングランクラブ

◆一般男子の部

- 1位 南会津高校A
- 2位 会津中央病院Aチーム
- 3位 只見ランナーズ

大人気の「とん汁」コーナー



▲選手に大人気だったとん汁



▲おいしいとん汁を振る舞った食改、只見ランナーズの皆さん



▲笑顔でゴールした東京から初参加の「チーム只見ファン」宮崎哲夫選手

第11回市町村対抗福島県軟式野球大会

只見町が快進撃で初の「第3位」

県内59市町村の頂点を目指す「第11回市町村対抗福島県軟式野球大会」が行われ、只見町代表チームが初のベスト4・準決勝に勝ち進み、見事「第3位」という輝かしい成績を収めました。

今大会の只見町チームは、投手陣を中心とした固い守備力と5試合で



▲賞状やトロフィーなどをする選手の皆さんと町長・副町長

計31得点を挙げる高い得点力、そして2度のサヨナラ勝ちを収める勝負強さにより、初となるベスト4・準決勝にコマを進めました。10月15日の準決勝では矢吹町チームと対戦し、守りでは矢吹町を1安打に抑える好投をみせ、攻撃も相手を上回る4安打を放ちましたが、結果は惜しくも0-1で準決勝敗退となりました。

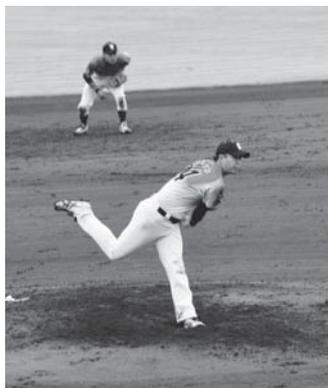
初の3位という結果に、監督の渡部智和さんは「只見町代表として3位という結果を残すことができ大変うれしい気持ちです。温かいご声援ありがとうございました」と話しました。

【試合結果】

- 1回戦 (9/10) 金山町戦
只見町 14-0 金山町※コールド勝ち
(大会第1号HR・長谷川佑樹)
- 2回戦 (9/23) 川俣町戦
只見町 2-1 川俣町※サヨナラ勝ち
- 3回戦 (9/31) 埴町戦
只見町 8-7 埴町※サヨナラ勝ち
- 4回戦・準々決勝 (10/1) 下郷町戦
只見町 7-2 下郷町
- 5回戦・準決勝 (10/15) 矢吹町戦
只見町 0-1 矢吹町



▲表彰を受ける渡部智和監督



▲力投を見せた大竹大和選手



▲マウンドに集まる監督と選手の皆さん

只見町の魅力を発信!

ふるさと大使との懇談会を開催

9月29日、町外在住の方が只見町の広報員として町の魅力をPRする「只見町ふるさと大使」の懇談会が只見振興センターで行われ、大使6名と町関係者6名が出席しました。

このふるさと大使は、関東や福岡県など全国から10名の方が任命されており、10月1日に3年目を迎えました。

懇談会では、菅家町長が「大使の皆さまには、只見町を広く宣伝していただき大変ありがたく思っています」と挨拶し、その後観光商工課と各大使の活動報告や意見交換が行われ、関係者との交流が深められました。



▲ふるさと大使に歓迎の挨拶を述べる菅家町長

只見町を会場に盛大に開催！ JR東労組東京地本「結成30周年記念イベント」

10月14、15日、JR東日本で働く社員で組織する「JR東労組東京地本本部」の結成30周年記念行事が開催され、只見町内各所を会場に様々なイベントが催されました。

これは、同労組が平成23年の新潟・福島豪雨で一部区間が不通となったJR只見線の復旧と存続を支援するため、平成27年から始めた「グステイネーション只見」の取り組みのひとつとして、今回の記念行事も只見町で開催したものです。記念行事には同労組の組合員約300名が只見町を訪れました。



▲町下運動場で行われた開会式で撮影されたJR東労組集合写真



▲今年の雪まつりでも共演した「天領只見仙嶽太鼓」と「よさこい隊」の演舞

10月14、15日、JR東日本で働く社員から菅家町長に10万円の寄附金が手渡され、15日には組合のサークル活動として只見町駅伝に参加した他、野球・サッカー・登山などの活動が行われました。夜には季の郷湯ら里の前庭で記念イベントが行われ、多くの町民が参加しました。会場には町内業者による出店が並び、ステージでは天領只見仙嶽太鼓やよさこい隊、天地人の演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

今回のイベントを通し、町民とJR東労組の交流が更に深まりました。

女性消防班と職員が連携

只見保育所で避難訓練を実施

10月17日、水害を想定した避難訓練が只見保育所で行われ、保育所全児童と只見町消防団女性消防班5名などが参加しました。この訓練は、地域や職員が連携して子どもたちの安全を守ることを目的に、只見保育所が主催したものです。訓練では、女性消防班が避難誘導組と避難所受入組に分かれ、子どもたちを保育所から避難所となる只見振興センターへ安全に避難させました。訓練の後半には女性消防班から避難の大切さを伝える紙芝居が披露され、子どもたちは「怖かったけど避難できて良かった」などと感想を話していました。



▲「押さない」、「戻らない」、「近寄らない」など避難で大切なことを伝えた女性消防班の皆さん

三条市との地域間交流を深める

「八十里越交流事業」開催

10月18、19日、只見町商工会と新潟県三条市下田商工会が主催する「八十里越交流事業」が只見町を会場に開かれ、南会津郡内や奥会津地域、三条市の関係者など約80名が参加しました。

この交流事業は1年ごとに互いの地域を会場に国道289号八十里越工事区間を利用して地域間交流を行うもので、今年は八十里越工事区間の進捗状況の確認や町内の六次産業業会社「合同会社ねっか奥会津蒸留所」の視察が行われました。その後、季の郷湯ら里を会場に「交流懇談会」が行われ、地域間の交流がより一層深まりました。



▲「八十里越峠の全線開通と広域交流について」をテーマに協議した懇談会

小川サロンと湯ら里で寄席 三遊亭鳳楽師匠の 独演会を開催！

落語家・三遊亭鳳楽師匠の独演会が今年も小川集会所と季の郷湯ら里で行われ、多くの町民に笑い与健康が届けられました。9月29日に行われた小川サロンの寄席では、はっぴを着た集落の方々など約60名の前で「子ほめ」を披露しました。会場は大きな笑いにつつまれ、寄席終了後には集落の方々から感謝の言葉とプレゼントが鳳楽師匠に贈られました。また、翌日30日の「第12回湯ら里寄席」では、笑い話から人情話まで多くの古典落語の世界が披露され、来場者を魅了しました。今年で開催12年目を迎えた鳳楽師匠は「只見町の皆さんにはいつも心の底から笑っていただき、逆に元気をもらっています」と話されました。



▲小川サロンで披露する三遊亭鳳楽師匠



▲参加者の前で解説する河井継之助記念館運営委員の目黒良樹さん

2年連続で只見町がクイズ番組の予選会場に！ 第2回「峠」王クイズ選手権大会

9月30日、UX新潟テレビ21が制作する番組「第2回『峠』王クイズ選手権大会」の予選会が行われ、昨年に続き只見町が番組の舞台の一部となりました。

この番組は、河井継之助を主人公に司馬遼太郎が書いた歴史小説「峠」をテーマに、戊辰戦争ゆかりの地を巡りながらクイズを行い「峠」王を目指す大会で、予選会場の只見町では叶津番所や河井継之助記念館でクイズが行われました。河井継之助記念館運営委員で郷土史家の目黒良樹さんが、クイズの出題や解説などを行いました。今回の収録の様子は後日、UX新潟テレビ21で放送される予定です。

お笑い芸人と只見線に乗って奥会津の魅力を知る よしもと芸人只見線ツアー

県と吉本興業が連携して只見線と奥会津の魅力を全国に発信する「よしもと芸人と行く！只見線体験ツアー」が行われ、只見町もツアーの舞台になりました。只見町を訪れるツアーとしては10月17～26日までに1泊2日で3コースが企画され、首都圏や仙台などから参加した約200名のツアー客が「M-1グランプリ2016」王者の銀シャリや只見の雪まつりのゲストとして登場したライスなどの人気芸人と一緒に奥会津の旅を楽しみました。只見町では田子倉ダムや青少年旅行村、季の郷湯ら里などを訪れ、大自然を背景に漫才を披露し、ツアー客は旅を満喫しました。



▲旅行村でよしもと芸人とツアー客を迎える菅家町長

夫婦で築いた半世紀をたたえる しあわせ金婚夫婦表彰

10月17日、福島民報社と県老人クラブ連合会が主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が季の郷湯ら里で行われ、町内の12組が金婚表彰を受けました。

表彰式では小沼武夫町老人クラブ連合会長から各地区代表3組に表彰状などが伝達され、受賞者代表謝辞では角田宣夫さん・高子さん夫妻が「これからも町の発展に尽くしたい」と述べられました。



▲小沼会長から表彰を受ける平山忠夫さん・久美子さん夫妻

今年も安心・安全のお米を届けるために 「米の放射性物質検査」始まる

県内全域で取り組む「米の放射性物質検査」が只見町の検査場で、9月25日から始まりました。これは、県内で収穫された玄米に対して放射性物質検査を行う「全量全袋検査」です。これまで平成24年から毎年行われていますが、基準を超えたお米はなく安全性が確認されています。検査場では、今年収穫されたお米の検査が進められており、11月中旬まで行われる予定です。



▲検査機器に30kgの米袋を乗せて計測する検査員

只見町教育委員会教育委員の辞令交付式 長浜地区の吉津美都里さんが就任

10月2日、只見町教育委員会教育委員の辞令交付式が役場で行われ、長浜地区の吉津美都里さんが就任されました。教育委員は町の教育振興の発展のため、教育政策の提案や町民の教育への意見、ニーズを教育行政へ反映させる役割を担っています。辞令交付式では、菅家町長から吉津さんへ辞令書が手渡されました。吉津さんの任期は10月1日から4年間となります。



▲辞令書を手にする吉津さん(中)と菅家町長(右)、橋本副町長(左)

(株)福島情報処理センター 災害・非常用電池を寄贈

9月29日、(株)福島情報処理センター(郡山市)の小暮憲一代表取締役社長が来庁され、今年7月に只見町が受けた豪雨災害の見舞品として、災害・非常用電池「エーターナス」2セットを寄贈されました。同電池は空気に触れると発電を行うことが特徴で、スマートフォンなどの場合は約54回充電が可能です。同電池は災害・防災備蓄品として町で備蓄し、緊急時に活用いたします。



▲菅家町長(右)へ災害・非常用電池を寄贈する小暮社長(左)

児童・生徒が日頃の学習の成果を発表！

各小中学校で「学習発表会・紅葉祭」を開催

10月、各小学校の「学習発表会」と只見中学校の「紅葉祭」が行われ、日頃の学習の成果が発表されました。各小学校の発表会では劇や合唱などが披露され、只見中の紅葉祭では英語弁論発表や総合学習発表、合唱や有志発表などが披露されました。各小中学校の取り組みを写真で紹介いたします。



【只見小】さわらび学級で和太鼓を体験する6年生



【朝日小】6年生の劇「歴史教室」



【明和小】6年生の劇「未来へ～自然とともに～」



【只見中】全校合唱を披露する生徒

障がい者への福祉の充実を図る

町内初のグループホーム完成！

10月17日、町内初の障がい者向けグループホーム「こまどり荘」が長浜地区に完成し、内覧会が行われました。当施設は定員7名で、主に知的・精神障がいの方が入居し共同生活を送る予定です。これまで町内には障がい者向けの施設が整備されておらず、自宅生活が困難となった方は町外の施設を利用する状況でしたが、今後は町内での生活が可能となり充実した福祉サービスを受けることができます。当施設を利用したい場合は、保健福祉課福祉係(Tel.84-7010)へお問合せください。



▲完成したこまどり荘を見学する関係者の皆さん

身近な野草の効能・調理法を学ぶ

第2回ノラサン野草教室

10月9日、身近な野草で健康づくりを目指す団体ノラサンの「第2回野草教室」が只見振興センターで行われ、町内外から15名が参加しました。講師は前回に引き続き貝津好孝先生が務め、野草の効能や使い方のほか、野草の採取から調理法の講座が行われ、参加者は身近な野草の効能・調理法などを学ぶことができました。



▲館ノ川で採取した野草を使って様々なメニューを料理した野草教室

只見ホームの方々と子どもたちが交流 カルガモクラブのえんそく

10月3日、カルガモクラブの「ハロウィンえんそく」が只見ホームで行われ、15組の親子が参加しました。

えんそくでは、只見ホームのおじいちゃんおばあちゃんから子どもたちにおやつが手渡され、一緒に踊りや遊具遊びなどを行い交流を深めました。また、会場ではハロウィンの衣装に着替えた子どもたちのかわいい姿に、多くのカメラが向けられていました。



▲民生委員の方々が見守る中、子どもたちと触れ合う只見ホームの皆さん

第9期生が松下政経塾で宿泊研修 地域人材育成ダイヤモンドプラン事業

10月19～20日、教育委員会が主催する人材育成第9期生の講座「松下政経塾宿泊研修」が神奈川県茅ヶ崎の同塾で行われ、9期生など8名が参加しました。現在9期生は「アウトドアプランナー」を目標に受講しており、今回の研修では「只見で為すべきこと」をテーマに、松下政経塾の塾生から取組事例などの発表と、ワークショップなどが行われ、地域リーダーとしての志を磨きました。



▲松下政経塾研修に参加した受講生の皆さん

ふるさと交流都市「柏市」を盛り上げる！ 永楽台地域文化祭で只見町をPR

10月21～22日、ふるさと交流都市である千葉県柏市の永楽台近隣センター文化祭に、只見町と(株)会津ただみ振興公社が参加しました。

文化祭では、只見町の特産品などを集めた物産販売や毎年恒例の餅つきふるまいを行い、会場を盛り上げました。また、紅葉シーズンを迎える只見町のPRなども行い、柏市との絆を深めました。



▲来場者に好評だった只見町の物産販売

JR路線で初の試み！ 「只見線で車内プロレス」開催！

10月22日、JR只見線の貸切臨時列車「只見線で車内プロレス！」が開催され、只見駅前広場でもプロレスの試合が行われました。これは新潟県魚沼市観光協会が主催で、困難な状況から立ち上がるプロレスと只見線の思いを重ねて企画されたもので、プロレス列車はJR路線で初開催となりました。参加者は、行きの只見線車内や只見駅前で行われたプロレスを堪能し、帰りの只見線では車窓からの紅葉を楽しんでいました。



▲只見駅前広場で行われた「只見線プロレス」

10月から新しい看護師さんが着任しました!

10月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の渡部直人さんです。渡部さんは高校時代、金山町の川口高校で野球部に所属し、1年生キャッチャーとして活躍されました。そのときバッテリーを組んでいた3年生の先輩ピッチャーが高校卒業後、救急救命士の資格を取得し消防士として活躍する姿を見て自分も医療の道を目指し、現在は医療の現場で先輩と連携しているそうです。「只見町では、多くの患者さんと触れ合いたい」と話す渡部さんをどうぞ宜しくお願いいたします。



渡部 直人さん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「インフルエンザワクチンの状況」

今年もだんだんと冬が近づいてまいりました。今回はインフルエンザワクチンについて皆さまにご報告があります。

すでにご存じの方もおられるかもしれませんが、今年度のインフルエンザワクチンの製造が遅れているようです。理由を説明しますと、実はインフルエンザウイルスにもたくさんの種類があり、毎年流行する種類が異なっています。流行しそうなインフルエンザの種類を国の機関が予想して、それに対するワクチンを製造し始めますが、今年はその途中で急遽ワクチンの種類を変更することになり、製造に遅れがでているそうです。最終的なワクチン製造量については、昨年度使用量におよそ4%足りない程度だそうで、各医療機関で無駄がでないように注意して利用すれば、最終的には皆さまにワクチンを提供できると考えております。

しかし、製造が遅れていますので、その分例年よりワクチン接種の時期が遅れてしまいます。例年は11月に実施できていた保健福祉センターでの集団接種も遅れてしまいます。11月は優先的にワクチン接種が必要な方(子供、妊婦、介護を受けているような虚弱な高齢者、心臓や肺に病気を持っている方)に接種をしたいと考えています。現在のワクチン入荷状況では、優先的にワクチンを必要とする方以外に対しては、11月中はワクチン接種ができない見込みです。12月以降、ワクチンが十分に届き次第、皆さまにワクチン接種を開始させていただき予定となっています。

12月に集団接種ができるかどうか?できるとしたらいつになるか?また診療所での個別のワクチン接種予約開始時期についても、改めてなんらかの方法でご報告させていただきます。非常にあわただしくなるかと思いますが、ご容赦ください。

地域おこし協力隊として 只見町空き家活用促進隊

vol.36

大竹 友香



「豊かな只見、『住まう』家」

明和振興センターで「空き家バンク」の運営や移住定住等のお仕事を担当しています、大竹友香です。

福岡から只見へ越してきて、早いもので半年になろうとしています。春～夏～秋と只見を過ごし、福岡と比べ1ヵ月ほど、春は後戻り、秋は先を行く気候のように感じています。3シーズンを暮らしてみても、自然豊かで贅沢な只見に、たくさんの方に来てもらいたいと感じています。

今年3月に町HPで全国に向け発信を始めた

「空き家バンク」には問合せもあり、U、Iターンや町在住で独立したい方などへぜひ住んでいただきたいところなのですが、登録件数が少ないことが課題のひとつです。人口が減っていく一方の只見町において、深い雪にも耐えてきた今後も『住まう』ことのできる「空き家」は、町にとって大事な資源です。

人の賑わう只見町、先祖代々から受け継いできた家が住み継がれていくこと。こうしたことに繋がることに日々、取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

町史

とっておきの話

280

福島県植物研究会会長

薄葉うすば
満みづる

ただみ水田雑草考①

— 田んぼの雑草を見直す —

▼今月号から水田雑草についての連載です。▼執筆はいわき市在住の薄葉満さんです。薄葉さんは、福島県を代表する水生植物研究者として知られており、これまで多くの論文を発表するとともに相馬市史や原町市史なども執筆されました。著書に『ふくしまの水生物』があり、現在は第4次尾瀬総合学術調査員として活躍中です。▼身近でありながら知られていない、奥深い雑草の世界をお楽しみください。



▲ウリカワの生える水田(坂田地区)

田んぼに生えるイネ以外の植物は一般に水田雑草と呼ばれています。水田雑草は取っても取っても生えてくるので、私たちの祖父の時代は毎月のように「田の草取り」に追われていました。しかも、はうようにして手作業で引いたり、除草機を押し根ごと掻き散らしたりする物理的除草がほとんどだったので大変な重労働でした。しかし、戦後、農薬による化学的除草が普及するにともない、そのような重労働は軽減され除草効果も一段と高まりました。その結果、いまは雑草の生えた水田を目にするのが珍しいほどになったのです。このような現象は農家の長年の悲願であり、農業上歓迎すべきことかもしれません。しかし、農薬は、もともと自然界には存在しなかった化学物質ですから、低毒性とはいえ同時に

他の生物にも負荷がかかるはずで、田んぼでゲンゴロウやドジョウなどに出会うことが少なくなっただけでもその影響といえるでしょう。地球上の多種類の生物が互いにつながりあい、バランスを取りながら生きています。その多種類の生物と、生物どうしのつながりあいの豊かさを生物多様性と呼んでいます。近年、人類が持続的に発展してゆくためには、この生物多様性を維持することが大切であると世界的に認識されるようになりました。農薬や他の化学物質を過剰に使用することは、この生物多様性の低下につながると考えられています。そこで、イネづくりに可能なかぎり農薬の使用量を減らすという気運が生まれてきました。農薬そのものも、製造段階で魚毒性の少ないものなどに

変わりつつあります。後継者不足あるいは農産物価格の低迷といったきびしい農業情勢のもとで、生産あるいは農地を農地として維持していくためには、農薬への依存度が高くなるのはやむを得ないことかもしれません。しかし、できるだけ自然環境への負荷を少なくする配慮が求められる時代になっていることも確かです。農薬を少ない量で効果的に使うためには、雑草の名称や生態あるいはイネに与える害の大小などをひとつひとつよく知っておく必要があります。

地球上のあらゆる生物には遺伝子資源としての価値があります。水田雑草は、さまざまな方法で、耕作という人為にうまく適応する能力を持った遺伝子を備えていると考えられます。その遺伝子が、いま私たちの生活に直ちに利用できるというわけでももちろんありません。しかし、資源という見方で研究を進めていけば、雑草といえども役に立つときがきつとあるはずですから、すべて無くしてしまうということではなく、少量ずつ多種類の雑草が生育できる場を主たる生産現場以外に確保しておくというようなことも、将来的には検討されてよいのではないかと思います。私たちの身の回りには、かつて薪や山菜あるいは落ち葉を集めたりした里山があります。里山は、伝統的な農村の暮らしや文化を支えてきた身近な自然であり、田んぼもその構成要素の一つです。そこに生える雑草は、たとえば魚の産卵場になったり、オタマジャクシの餌になったり、あるいはトンボに羽化の場を提供したりと生態的には何らかの役割を担ってきたはずで、イネ以外の植物を雑草一般としてひとくくりにするのではなく、ひとつひとつ個性を持った植物として凝視すると、単なる邪魔者として排除するには忍びないものもあることに気がつくと思います。いま只見町の里山ではいったいどのような水田雑草がみられるのか、もう一度田んぼの中をのぞいてみましょう。



町民文芸

只見短歌会

九月詠草

大塚栄一

指導

朝方の夢に出で来し逝きし娘の笑み居し顔に目覚め惜しみぬ

馬場 八智

小倉キミ子

深き谷下りつつ見ゆる紅葉の向ひの山は夕日に輝く

目黒 富子

黄金ならぬうす桃色に休耕の田の面色どるみぞそばの花

渡部ゆき子

久に逢ふ五人姉妹^{きょうだい}弟一人亡く八十五才のわれを囲みて

新国由紀子

老いし母我がガラケーにタップする母さんそれはスマホでやるの

関谷登美子

敬老会に招かれ行きて有り難きふだん会われぬ人の懐かし

渡部ヨリ子

日曜日今日は無いのと夫は言ひ朝のドラマのチャンネル回す

新国 洋子

二の孫の結婚式にはめむかとわれには過ぎし指輪買ひしが

(出詠順)

只見俳句会

十月例会

目黒十一

指導

あの山路行きたし見たし実むらさき

弘子

夕暮れを少しおくらせ穂田の色

満山をひねもす奏で夕紅葉

幸生

礼

どっかりと土にかまえる種茄子

肌を刺す風にせかされだいこん引き

信

稔り田の今コンバイン音あげて

秋時雨落ち武者どもが峠越え

一穂

都

遺影には南瓜供えて三七日や

蛙ごとに種類数えて大根蒔く

台風に閉じ込められて季語聞く

虫かごを置いて無心に少年の目

修一

味代子

初芋の洗いし後の白さかな

蜂の巣の軒に三ヶ所やりすごす

熊へ備え鈴鳴らしつつ栗拾い

忌ごもりの吾も行く道秋の風

吉児

血に染みし戸の口原の草もみじ

階前の庭に音して桐一葉



今月の お知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
総合政策課	
地域振興係 広報広聴係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林振興課	
農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課	
地域整備係	☎82-5270
生活環境係	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
朝日保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

お知らせ

全国「斉の強化週間」 「女性の権利ホットライン」

福島地方方法務局と福島県人権擁護委員連合会は、11月13日(月)から11月19日(日)までの7日間、全国「斉」女性の権利ホットライン」強化週間として、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど女性をめぐる様々な人権問題の解決を図るため、電話相談の取組みを強化します。相談は人権擁護委員および法務局職員が応じ、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日(土・日・祝日を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますので、ご利用ください。

●期間

11月13日(月)～19日(日)

●受付時間

午前8時30分～午後7時まで
※11月18日(土)～19日(日)は
午前10時～午後5時まで

●相談専用ナビダイヤル

☎0570(070)810
●問合せ先
福島地方方法務局人権擁護課
☎024(534)1994

「第69回人権週間」 電話相談の実施について

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、12月10日(世界人権宣言採択日)の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、この日を中心として、積極的な啓発活動を実施することを申し合わせています。

そこで、福島地方方法務局と福島県人権擁護委員連合会では、12月4日から10日までを「第69回人権週間」

とし、当該週間を中心に積極的な啓発活動および相談活動を行います。

また、人権週間に限らず電話相談を実施していますので、悩み事がありましたら次のダイヤルにお電話ください。相談は人権擁護委員および法務局職員が応じ、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

●相談専用ナビダイヤル

- ・ みんなの人権110番 ☎0570(003)110
- ・ 子どもの人権110番 ☎0120(007)110
- ・ 女性の権利ホットライン ☎0570(070)810

福島県点字図書館より 移動点字図書館のお知らせ

次の日程で「移動点字図書館」が開催されます。視覚に障がいのある方だけでなく、どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご利用ください。

●とき

11月12日(日)
午前10時～午後3時

●ところ

下郷町「ふれあいセンター」
(※下郷町役場向かい)
住所／下郷町大字塩生
字大石1000

●内容

点字・録音図書の展示や図書館の利用登録相談のほか、盲導犬・視覚障がい者の日常生活福祉用具の紹介も行います。また、体験コーナーはどなたでも参加できます。

●参加費 無料

●問合せ先

福島県点字図書館
開館時間／午前9時～午後5時
月・祝日は休館
☎024(531)4950

税 今月の納期

11月27日までに
納めましょう

- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者保険料(4期)

放送大学より

4月入学生募集のお知らせ

放送大学は、平成30年度第1学期の学生を募集しています。

10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど様々な目的で学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。

●出願期間

第1回 2月28日(水)まで
第2回 3月20日(火)まで

●資料請求・問合せ先

放送大学福島学習センター
☎024(921)7471

▽資料は無料で差し上げています。

只見町消防団から 「消防団員募集」のお知らせ

只見町消防団では消防団員を募集しています。

消防団の活動は、消火活動をはじめ、風水害時の水防活動、震災時の救出救護のほか、火災予防広報、住民の避難誘導などを行い地域の安心・安全を守っています。また、只見町消防団女性消防班では、子育て世代の団員も活躍しています。

全ての活動に参加できなくても大丈夫です。「地域の安心・安全を守りたい」という気持ちで、一緒に消防団活動に参加してみませんか。

◆申込み・問合せ先

町民生活課 町民係

(TEL) 0241-825100



▲子育てをしながら女性消防班で活躍する渡部恵美さん

各地の小中学生剣士集う

第3回河井継之助杯只見剣道大会を開催!

10月22日、今年で3回目となる「河井継之助杯只見剣道大会」が町民体育館で開催され、町内外から105名・32チームの小中学生剣士が参加し、熱戦を展開しました。恒例の小6河井継之助記念館見学交流会も行われ、歴史を知り親睦を深める大会となりました。優勝者は以下の通りです。



個人	若葉(未防具)	共通	南郷スポ少	渡部鉄心	団体	1部 (小5・6)	伊南武道館 A
	小4以下	男子	伊南武道館	須江悠成		2部 (小4以下)	伊南武道館 A
		女子	只見剣道スポ少	吉津知巴			
	小5・6	男子	南郷スポ少	大桃 航		3部 (中学生)	只見中学校 A
		女子	伊南武道館	鈴木志歩			
	中学生	共通	只見中学校	目黒京介			

町長スケジュール

(10月分)

- | | |
|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 2日 只見町教育委員会教育委員辞令交付式、定例庁議 | 18日 只見町議会全員協議会、
八十里越え交流懇談会及び懇親会 |
| 3日 あいづふるさと市町村圏協議会総会、
福島民報125周年「地域づくり交流会」(会津若松市) | 19日 只見町固定資産評価審査委員辞令交付式 |
| 5日 福島県建設業協会山口支部意見交換会(南会津町) | 22日 河井継之助杯只見剣道大会、
JA会津よつば南郷トマトまつり(南会津町) |
| 10日 南会津郡内行政調査(檜枝岐村～只見町) | 25日 お楽しみ昼食会 |
| 12日 田島税務署長来庁 | 26日 只見ユネスコエコパーク連絡調整会議 |
| 13日 「平成29年度日本の防衛」の説明、
南会津地方広域市町村圏組合管理者会(南会津町) | 27日 「ふくしま復興・未来の森づくり基金」の寄贈式、
(公財)福島県森林・林業・緑化協会役員会(福島市) |
| 14日 JR東労組東京地本結成30周年記念行事
開会セレモニー | 28日 只見小学校学習発表会、明和小学校学習発表会 |
| 15日 福島県市町村対抗軟式野球大会準決勝(本宮市)、
(株)いづみや創業五十周年式典(栃木県) | 29日 只見町表彰式 |
| 17日 臨時庁議、しあわせ金婚夫婦表彰式 | 30日 福島県立南会津高等学校長来庁、
福島県労働組合総連合本部来庁 |

町民の消息

(9月26日～10月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

馬場 ^{しおり} 菜 (女/ 純・春美) 福井
 川合 ^{ゆめ} 夢 (女/ 祥太郎・愛華) 只見
 鈴木 ^{れおと} 玲人 (男/ 誠・未来) 長浜

■おくやみ申し上げます

五十嵐 祐喜	82歳	福井
河原田 京一	85歳	梁取
山内 久	89歳	長浜
渡部 トモエ	88歳	福井
星 洋一	84歳	二軒在家
室井 美代子	84歳	只見
八久保 基	78歳	黒谷
舟木 平一	97歳	小林
渡部 和雄	79歳	只見
酒井 ヒテ子	94歳	黒沢

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成29年10月1日現在

人口 4, 322 (- 3)
 男 2, 127 (- 1)
 女 2, 195 (- 2)
 世帯数 1, 865 (+ 2)
 高齢化率 45. 24%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 11 転出 7 出生 2 死亡 9

あとがき

▽10月を迎え、毎日通勤をしながら只見町の山々を見てみると、少しずつ赤や黄色に変化していく様子が秋の深まりを感じました。下旬頃には紅葉の見ごろを迎えましたが、二つの台風(21号・22号)の接近により色づいた葉が落ち、あつという間にさみしい気持ちになつてしまいました。

▽この二つの台風はどちらも週末にかけてやってきたため、選挙や屋外イベント、そして稲刈り作業など多くの町民や観光客に影響を与えました。
 ▼来年の秋は天候に恵まれ、豊かな秋が迎えられよう祈ります。

(三瓶)

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見振興センター生涯学習推進員
 浅野リサ

只見振興センター
 図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★月のぶどう



寺地はるな/著(ポプラ社)

実家である天瀬ワイナリーを営み発展させてきた母が、突然倒れ、かえらぬ人となった。

優秀で美しい母を目指して生きてきた双子の姉と、二十六歳になっても逃げることはばかり考えている弟は、自分たちを支えてくれていた母を失い、家業を継ぐ決意をする。

デビュー作『ピオレタ』で高い評価を集めた期待の新鋭による、優しい涙がこみあげる感動作です！

★このママにきーめた!



のぶみ/著(サンマーク出版)

「スッキリ!!」(日本テレビ系)に著者が生出演し大反響!

話題の作家のぶみが描く、奇跡の絵本。ママの心が、ふわっと優しくなります。子どもにもママさんにも大人気ののぶみさん。生まれる前の記憶を持つ子どもたちに「なんで産まれてきたの?」と問いかけて描いた絵本。ママであることに自信が持てない…子どもはかわいいはずなのに…育児が楽しくない…そんなママさんがいたら、ぜひお届けしたい、とってもかわいいお話です。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

ヒメガマ (学名: *Typha domingensis*)

[ガマ科 ガマ属]



▲水の郷只見川公園のヒメガマ



▲ガマの穂の上に見える緑色の部分が裸出した花茎

ヒメガマは、休耕田や浅い池、川べりなどの水辺に生育する多年草です。只見町では、石伏、只見、亀岡、布沢などに生育しています。茎の高さは1.5~2m、葉は線形で長さ1~1.5m、幅は0.5~1.0cmになります。「ガマの穂」と呼ばれる円柱型の花序が特徴で、直立した花茎の上部に雄花穂が付き、その下の太く目立つ部分が雌花穂になります。雌花穂はそのまま結実し、果穂となり晩秋には完熟して白い毛が出て、風によって種子が飛んでいきます。ガマ科は、ガマ属のみからなる科で、只見町ではガマ、コガマ、ヒメガマの3種類が確認されています。ヒメガマは上部の雄花穂と下部の雌花穂の間が離れており、その間に裸出した花茎が確認できます。一方、ガマ、コガマは雄花穂と雌花穂がくっつき隙間がないため容易にヒメガマと見分けることができます。ヒメガマはガマよりやや小さいことから「姫」という名前がついています。

只見町では、ガマの仲間は総称して「ガバ」と呼ばれ、ゾウリ、ゲンベエ、フカグツゲンベエ、ハバキを作るための材料として利用されてきました。

詳しくは、
只見町プナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示 只見ユネスコエコパーク関連事業・只見自然環境基礎調査報告
「只見の湿原—その生態と歴史」

期 間:11月20日(月)まで開催

場 所:ただみ・プナと川のミュージアム 2階ギャラリー

市町村対抗県ソフトボール大会

10月15日、「第4回市町村対抗県ソフトボール大会」が相馬市の相馬光陽ソフトボール場で行われ、只見町代表が榎葉町代表と対戦しました。試合では、3回に榎葉町打線の猛攻にあい一挙10点を挙げられ、只見町は4回に得点圏に走者を進めますがあと一本が出ず、結果0-11で4回コールド負けとなりました。只見町代表は今大会の悔しさをバネに、来年初勝利を目指します。



▲只見町代表として試合に挑んだ選手の皆さん